

【記入例① 水産食品製造業】

様式第1 (第3条関係) (表面)

該当しない事項を二重線で見え消し

~~特定施設(有害物質貯蔵指定施設)設置(使用、変更)届出書~~

年 月 日

年号を記載
(平成, 令和等)

宮城県知事 ○○ ○○ 殿

仙台市青葉区本町○丁目○番○号

○○水産株式会社

代表取締役 宮城 太郎

電話番号 022-○○○-○○○○

(氏名又は名称及び住所並びに法人に
あつては、その名称及び代表者の氏名)

届出者

設置届…第5条第1項
変更届…第7条
その他について詳細は保健所職員まで
お問い合わせください。

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)~~
の規定により、~~特定施設(有害物質貯蔵指定施設)~~について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	○○水産株式会社第一工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	○○町△△1-2	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類の種類	3-イ 水産動物原料処理施設 3-ロ 洗浄施設 3-ホ 湯煮施設	※施設	令別表第1の番号及び名称を記載すること。
有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	※審査結果	
第5条第1項関係	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考
	△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。	
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。	
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。	
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。	
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。	
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。	
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類の種類		
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。	
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。	
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。	
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。	
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。	

様式第1（第3条関係）（裏面）

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

変更届出の場合は、変更の前後がわかるように記載すること。
 (変更前, 変更後でそれぞれ欄を設け, 並べて記載すること。)

別紙 1

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	No. 1	全施設のうち, 当該施設を特定するために用いている番号, 名称があれば記載する。
特定施設番号及び名称	3-1 原料処理施設	
型式	A社製 CUTS-6	
構造	ステンレス製 (別添構造図参照)	施設の材質(木製, コンクリート製, 鉄製等)を記載する。 適宜, 図面・仕様書等を添付する。
主要寸法	3,000×2,000×1,500(mm) 2台	施設の縦, 横, 高さ(深さ)等について記載する。
能力	1,500匹/日	その施設の時間あたり, または1日あたりの原料の処理能力を表示しやすい重量・長さ等により記載する。
配置	別添配置図のとおり	当該施設及び関連する主用機械や主要装置の配置を記載する。 別添図面でも可。
設置年月日	ⒶⒷ 年 月 日	年 月 日 使用届の場合は設置年月日を記載すること。
工事着手予定年月日	ⒶⒷ 年 月 日	
工事完成予定年月日	ⒶⒷ 年 月 日	
使用開始予定年月日	ⒶⒷ 年 月 日	
その他参考となるべき事項		当該施設と同型の施設を同時に複数設置する場合にはその施設数を記載する。 その他, 担当者名, 主要製品等の基本情報を記載する。

- 備考 1 配置の欄には, 当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には, 当該施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には, 施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	No. 1		別紙1との対応がわかるように記載する。		
特定施設号番号及び名称	3-I 原料処理施設				
設置場所	別添工場配置図のとおり				
操業の系統	別添系統図のとおり		特定施設を含む操業の系統について記載する。		
使用時間間隔	連続8:00~12:00, 13:00~17:00		施設を断続的に使用している場合、その時間間隔を記載する。		
1日当たりの使用時間	8時間		日によって変動がある場合は、平均的な使用時間を記載する		
使用の季節的変動	7月~11月のみ操業		使用に季節的変動がある場合に、その概要について記載する。		
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	カットとフィレを製造する イワシ 1,500匹/日				
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	6.2以上8.2以下	5.8以上8.6以下		
	BOD (mg/l)	2000	2500	当該特定施設から排出される汚水の汚染状態について記載する。	
	SS (mg/l)	250	270		
	n-ヘキサン抽出物 (mg/l)	40	50		
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	80	最大	当該施設において製造・使用・処理している有害物質(法施行令第2条)の種類及び使用量について記載する。	
			100	当該施設以外で有害物質を使用している場合に種類及び使用量について記載する。	
その他参考となるべき事項			←		

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	No. 1 固液分離施設 + 生物処理				全施設のうち、当該施設を特定するために用いている番号、名称があれば記載する。				
処理施設の設置場所	別添配置図のとおり				処理装置を具体的に表す名称(曝気槽、沈殿槽など)、型式等を記載する。				
設置年月日	◎◎ 年 月 日								
工事着手予定年月日	◎◎ 年 月 日				コンクリート、木製等型式ごとに記載する。別添として図面、仕様書等添付可。				
工事完成予定年月日	◎◎ 年 月 日								
使用開始予定年月日	◎◎ 年 月 日								
種類及び型式	ロータリースクリーン+標準活性汚泥				縦、横、深さ等の主要寸法、容量等について型式ごとに記載する。別添として図面、仕様書等添付可。				
構造	ステンレス製								
主要寸法	ロータリースクリーン φ○○(mm) L△△(mm) 活性汚泥 □□m × ○○m								
能力	最大400m ³ /日				処理の具体的な方法について記載する。				
処理の方式	粗ろ過、生物処理								
処理の系統	別添処理系統図のとおり				汚水等の集水及び処理施設までの導水方法について記載する。				
集水及び導水の方法	同上								
使用時間間隔	8:00~12:00, 13:00~17:00				施設を断続的に使用している場合、時間間隔を記載する。				
1日当たりの使用時間	24時間								
使用の季節変動	変動なし				日によって変動がある場合は平均的使用時間を記載する。				
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	なし								
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	6.2以上 8.6以下	6.2以上 8.6以下	5.8以上 8.2以下	5.8以上 8.2以下	季節変動がある場合に記載する。			
	BOD (mg/ℓ)	2000	25	2500	30	設計計算書、浄化槽であれば認定シートを添付すること。			
	SS (mg/ℓ)	250	25	270	30				
n-ヘキサン抽出物 (mg/ℓ)	40	3	50	5					
量 (m ³ /日)	290	290	350	350					
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	内臓, ガラ1.5t/日, 汚泥10m ³ ○○飼料(株)に売却				排出水の排出方法、排出口の位置、数及び排出先について記載する。排出先は、○○排水路→△△川→□□川とできるだけ詳細に記載する。				
排出水の排出方法	別添排水系統図のとおり								
その他参考となるべき事項									

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
- 2 排水水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

当該工場又は事業場において用いている番号、名称等があれば記載する。

工場又は事業場における施設番号		No. 1 排水口			
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	6.2以上8.6以下	5.8以上8.2以下		
	BOD (mg/l)	25	30		
	SS (mg/l)	25	30		
	n-ヘキサン抽出物 (mg/l)	3	5		
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		290	350		
その他参考となるべき事項		排水施設が複数ある場合は、排水施設と特定施設・汚水処理施設との関係について記載すること。			

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統

